



発行 晴嵐学区社会福祉協議会

大津市北大路一丁目9-5
晴嵐市民センター内
537-0743

令和3年度総会の開催について

総会は5月13日（木）予定していましたが、文書により表決をお願いしました。

結果、第1号議案令和2年度事業報告 第2号議案令和2年度会計決算及び会計監査報告
第3号議案会長、監事候補者の承認 第4号議案令和3年度事業方針及び事業計画（案）
第5号議案令和3年度会計予算（案）全て承認いただき成立しました。

新型コロナウイルス感染症の心配は依然と続いています。特に変異型デルタ株が多くを占め感染力が強いと言われています。今は、東京オリンピックが開催され続いてパラリンピックが開催されますが、消毒、三密回避はもとよりバブル方式という徹底した感染対策のもと、安全安心な大会運営を目指して取り組みがされています。

私たち身近な所で、消毒、マスク着用、三密回避等に徹した行動が求められます。一日も早い収束と安全安心な日常生活を取り戻すために頑張っていきたいと思います。

令和3年度事業 〈基本方針〉（総会資料から抜粋）

社会福祉は、「自助」を援助し、「共助」で支えなければなりません。さらには、「公助」を求めていかなければなりません。

「自助」：自分で自分を助けること。自分の力で住み慣れた地域で暮らすために、自発的に自身の生活課題を解決する。

「共助」：家族・友だちなど個人的な関係を持つ人同士が助け合い、生活課題をお互いが解決する。

「公助」：市をはじめ警察消防等公的機関が解決する。

将来を担う子ども、一生懸命働き家庭を築き社会を支えてこられた高齢の方をはじめ、晴嵐学区の人々が安心して心穏やかに過ごせる地域社会福祉の充実に努めていきます。

〈活動の方向と目標〉

基本方針を踏まえ、「安心して暮らせる晴嵐」をめざし、事業を進めます。

1. 子育て中の親・高齢者・障がい者等支援を必要とする人に、相談・支援を迅速に対処します。
2. 学区社協事務局体制の拡充、民生委員児童委員・福祉委員等福祉に密接に関わる人との更なる連携活動を深めます。
3. 自治連合会をはじめ関係機関、行政との連携・協力を深め、特に支援の必要な人の福祉課題に対応します。
4. 自主防災をはじめ各種団体との連携・協力を深め、自然災害等非常事態に対応できる体制づくりに努めます。
5. 地域住民へ福祉制度を広く理解を得るための研修会、相談会等を開催し啓発・広報活動を行い、情報発信に努めます。



〈主な事業〉

① 福祉バザー

長年にわたり実施してきました福祉バザーを中止します。収益は敬老のお祝い事業の原資として、また人と人とのつながりを期待して実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症が収束を見ない中では開催が困難であると判断しました。非常に残念ですがご理解の程よろしくをお願いします

② ふれあい給食

ひとり暮らしで70歳以上、買い物等でお困りの方100人に月一回お弁当を配っています。晴嵐健推会の方が献立から調理までしていただき、民生委員児童委員の方に配っていただきます。希望される方は民生委員の方に相談してください。人数制限があります。

③ 親子友遊教室

学区子育ての一貫として、親子が遊び交流できる教室を開催します。民生委員児童委員、主任児童委員、保育士、保健師の方々にお世話になります。元気よく遊んで遊ぶ子どもの姿はもちろんのこと、親同士の交流相談の場ともなっています。

新型コロナウイルス感染症の予防対策として、事前登録をお願いし参加組数最大25組としています。

④ 敬老のお祝い

敬老の日(9月20日) 自治会に加入されている喜寿の方に3,000円・米寿の方に5,000円・100歳の方に10,000円のお祝い金を、未加入の方には商品券(500円)をお渡しします。自治会長、民生委員児童委員さんにお世話になります。



⑤ 歳末助け合い運動

晴嵐学区自治会からいただいた分担金を原資として下記の施設・方々へお渡しします。

☆施設配分金として市社協に届けるとともに、要保護世帯、在宅療養者(寝たきり、認知症老人)、地域福祉活動費、法外援護費、事務経費として使わせていただきます。

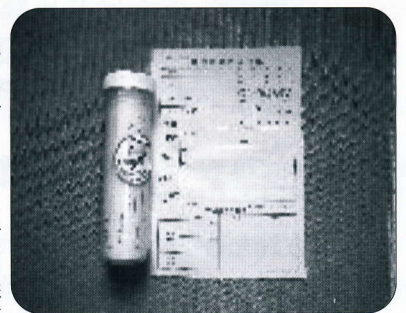
⑥ いのちのバトン更新

民生委員さんを通じて、75歳以上の独居世帯を基準として「いのちのバトン」をお渡しします。必要な情報(名前、緊急連絡先、持病・服薬情報、かかりつけ医など)を記入した専用の用紙を透明の筒に入れて保管し、緊急時、迅速な救急活動に活かします。民生委員の方に相談してください。

(令和2年度大津市における活用件数・・・6件)

事例1 一人暮らしの78歳女性が胸の痛み及び呼吸苦を訴え、隣人へ助けを求めたもので、傷病者情報は冷蔵庫内の「いのちのバトン」から聴取した。

事例2 弁当宅配業者が、自宅に訪問したところ、弁当が数日分が取り入れておらず、不審に思った宅配業者が民生委員に連絡し、裏口から室内に入ると、ベット横に倒れていた傷病者を発見し救急要請した。傷病者の病歴等がわからなかったため、冷蔵庫内のいのちのバトンを確認し、病院搬送した。



⑦ 赤い羽根共同募金

10月1日から全国的に展開されます。街頭募金、戸別募金、大口募金と募金活動に違いがありますがご協力をお願いします。

⑧ 福祉講座、研修会の開催

6月5日福祉講座を予定していましたが延期しています。研修会についても新型コロナウイルス感染症の収束状況をみながら考えます。

⑨ 中南部ブロック社協

晴嵐・富士見・膳所・平野で中南部ブロックを構成し、情報交換と研修を行います。今年度平野学区が当番幹事です。

⑩ 広報活動の充実

『福祉のまち晴嵐』・・・年2回発行
ミニ広報誌の発行・近々の情報発信

一般会計

令和2年度決算額及び令和3年度予算額を報告します。

「収入の部」

科 目	令和2年度決算	令和3年度予算
繰越金	802,975	527,425
補助金等	1,022,320	1,012,710
分担金	1,786,240	1,748,020
雑収入	16,994	462,000
収入合計	3,628,529	3,750,155

補助金等一市社協から（育成費、ふれあい給食、強化費等）
分担金・一自治会から（社協@90、敬老会@70、大津市20万円）
歳末助け合い@80、善意の献金@100）
雑収入・一バーザー収益等

「支出の部」

科 目	令和2年度決算	令和3年度予算
事業費	1,963,876	2,549,000
運営費	637,228	700,000
雑費	500,000	501,155
支出合計	3,101,104	3,750,155
繰越金	527,425	0

事業費一ふれあい給食、敬老祝い、歳末助け合い
友遊教室、福祉講座、研修費
運営費一市社協会費、会議費、事務費

令和3年度 晴嵐学区社協役員紹介

会 長	岡本 紘忠	(学区社協)		
副会長	目片 優次	(自治連)	楠松 淳	(民児協)
	岩見 しなゑ	(健推)		
顧 問	山田 和彦	(晴嵐支所長)	北田 和良	(前会長)
理 事	谷口 昌樹	(主任児童委員)	初田 勝廣	(人推協)
	田中 敦美	(主任児童委員)	赤坂 茂樹	(防犯推進協)
	西澤 憲子	(健推)	三澤 明美	(コミュニティ)
	中倉 敏和	(自治連)	岡本 一郎	(自主防災)
	辻 友教	(学区民)		
	乾澤 正和	(身障者更正会)	橋詰 幸喜	(晴嵐小学校)
監 事	原田 富夫	(自治連)	目片 勇	(民児協)
会 計	奥村 真	(民児協)		
事務局長	松崎 敏和	(学区社協)		
事務局次長	服部 彰	(学区社協)		
事務局員	日高 千恵子	(民児協)	中村 芳昭	(学区民)
	丸山 忠司	(学区社協)		

青少年育成指導者連絡協議会、体育協会、遺族会、日赤奉仕団、少年補導委員会、交通安全協会、晴嵐保育園
大津あいあい保育園、つばさ保育園、石山くじら保育園、晴嵐幼稚園、清和幼稚園、北大路・栗津中学校、企業代表
上記各種団体におかれましてもご支援ご協力くださいますようお願いいたします。

令和3年度 晴嵐学区福祉委員紹介

自治会名	氏 名	北之上町	師橋 智秋	国分一丁目二区	平田 千春
晴嵐一丁目	池田 美幸	中之町	福林 幸子	国分一丁目三区	山本 喜與子
栗津東町	秋野 実	中之町	尾畑 やすひろ	国分一丁目四区	野口 和也
栗津西町	若園 美苗	下之町	久保 俊夫	国分一丁目四区	大槻 直子
松原一区	村木 弘富	下之町	久保 佳代子	国分一丁目五区	山中 睦子
松原一区	田井 敬子	浜 町	橋本 有一	国分一丁目五区	竹内 英幸
松原二区	藤元 ひと美	ヴィーナズスクエア	川元 直子	国分一丁目ソシエテ	高橋 現
松原三区	西崎 二己子	河原町	目片 貴美子	国分一丁目ソシエテ	美濃部 進
松原五区	田中 豊治	元 町	大西 さよみ	国分二丁目一区	内藤 誠二
栄町一丁目	加藤 佑起枝	旭 町	山路 孝治	国分二丁目一区	丸山 昇
栄町二丁目	中嶌 清博	旭 町	目片 康廣	国分二丁目一区	田尻 弓雄
栄町二丁目	藤田 耕吉	長等町	柏木 優次	国分二丁目二区	佃 トシ子
栄町三丁目	中田 慎二	宮之内町	初田 英代	国分二丁目二区	小林 明夫
栄町三丁目	脇本 慎也	宮之内町	翁長 まり子	国分二丁目二区	本郷 寛
グレーシィ石山	岡 美保子	シティオ大津石山	梅田 隆一	田辺町	望月 申三
グレーシィ石山	永谷 純子	シティオ大津石山	石見 克美	田辺町	西川 史江
西上之町	東 幸男	国分一丁目一区	平井千晶・美智子	蛭 谷	西村 和子
西上之町	高田 乗男	国分一丁目一区	樋口 学	蛭 谷	山田 ちゑ
南上之町	神山 明美	国分一丁目二区	前川 金次郎		

令和3年5月20日から

ひなんしじ

避難指示で必ず避難

ひなんかんこく

避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は警戒 緊急安全確保 ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~		
4	 災害の おそれ高い <b>避難指示</b> ※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害の おそれあり <b>高齢者等避難</b> ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 災害が深刻化 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後発生が 懸念のおそれ 早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

警戒レベル3 高齢者等避難が必要な方の中には、身体的精神的に避難が難しい方がおられます。

大津市では、「私は、平常時から避難支援等災害の発生に備えた、日頃からの見守りのため、避難行動要支援者名簿に記載された個人情報、大津市防災計画に定める避難支援等関係者に提供することに同意します」ことを基に避難行動要支援者名簿（地域提供版）を作成しています。

避難行動要支援者とは避難に際し手助けを求める人であり、避難支援等関係者とは手助けする人で、避難に際し身近にお住まいの方が求められます。

このことと関わって、災害対策基本法の一部改正（令和3年5月）により市町村に避難行動要支援者ごとに個別計画の作成が努力義務化されました。

これを受けて滋賀県では「滋賀モデル」を作成し、大津市では「滋賀モデル」へ参加、市内にモデル地区を指定し、防災と福祉が連携して行政と地域・福祉専門職を繋ぎ個別避難計画作成を目指しています。

晴嵐学区においては、自治連合会、自主防災会、社会福祉協議会等により、避難行動要支援者（手助けを求める人）と避難支援等関係者（手助けする人）とのつながりを進めているところです。

避難とは命を守る行動であり、自他共に何にもまして大事なことです。自助そして共助と地域で助け合うまちづくりを願っています。ご協力をお願いします。